

注 意 事 項

1. 試験問題の数は120問で解答時間は正味2時間40分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。
 なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

201 近代看護の基礎を築いた人物はどれか。

1. アダムズ, J.
Addams, J.
2. キュリー, M.
Curie, M.
3. ナイチンゲール, F.
Nightingale, F.
4. アインシュタイン, A.
Einstein, A.

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

201	①	②	③	④
201	①	②	●	④

答案用紙②の場合、

201	201
①	①
②	②
③	●
④	④

(例2)

202 保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. 明治 32 年(1899 年)
2. 大正 4 年(1915 年)
3. 昭和 23 年(1948 年)
4. 昭和 43 年(1968 年)
5. 平成 13 年(2001 年)

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、					
202	①	②	③	④	⑤	202	202	①	①	
			↓			①		②	②	
202	①	②	●	④	⑤	③	→	●	③	→
						④		④	④	
						⑤		⑤	⑤	

(例3)

203 看護師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、					
203	①	②	③	④	⑤	203	203	①	●	①
			↓			①		②	②	
203	●	②	③	④	●	③	→	③	③	→
						④		④	④	
						⑤		⑤	●	

(2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

204 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答：①②%

- | | |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

正解は「90」であるから①は答案用紙の(9)を②は(0)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	
204 ②		1	2	3	4	5	6	7	8	9

答案用紙②の場合、

204	①	②
	0	
	1	1
	2	2
	3	3
	4	4
	5	5
	6	6
	7	7
	8	8
		9

1 令和5年(2023年)推計による日本の将来推計人口で、令和42年(2060年)の将来推計人口に最も近いのはどれか。

1. 6,600万人
2. 9,600万人
3. 1億600万人
4. 1億2,600万人

2 警察庁の「令和4年中における自殺の状況」の自殺者の原因・動機のうち最も多いのはどれか。

1. 家庭問題
2. 勤務問題
3. 健康問題
4. 経済・生活問題

3 レム睡眠の特徴はどれか。

1. 骨格筋が緊張する。
2. 急速な眼球運動を伴う。
3. 体熱の放散が増加する。
4. 大脳皮質の活動が低下する。

4 土壌中に分布し感染を引き起こすのはどれか。

1. 結核菌
2. コレラ菌
3. 破傷風菌
4. カンピロバクター

5 居宅サービス計画〈ケアプラン〉の作成を業務とするのはどれか。

1. 看護師
2. 介護福祉士
3. 介護支援専門員
4. 精神保健福祉士

6 マズロー、A. H. の基本的欲求の階層で、集団の一員でありたいという欲求はどれか。
Maslow, A. H.

1. 安全の欲求
2. 承認の欲求
3. 自己実現の欲求
4. 所属と愛の欲求

7 Down〈ダウン〉症候群の原因となるのはどれか。
Down syndrome

1. 5番染色体
2. 13番染色体
3. 18番染色体
4. 21番染色体

8 乳幼児期の手先の運動で最も早くできるようになるのはどれか。

1. はさみを使う。
2. 丸(円)を描く。
3. ガラガラを握る。
4. 積み木で塔を作る。

9 乳児期と比べて学童期にみられる身体生理機能の変化はどれか。

1. 血圧の上昇
2. 胃容量の減少
3. 膀胱容量の減少
4. 腹式呼吸への移行

10 令和4年(2022年)の国民生活基礎調査で、世帯総数における核家族世帯の割合に最も近いのはどれか。

1. 40%
2. 50%
3. 60%
4. 70%

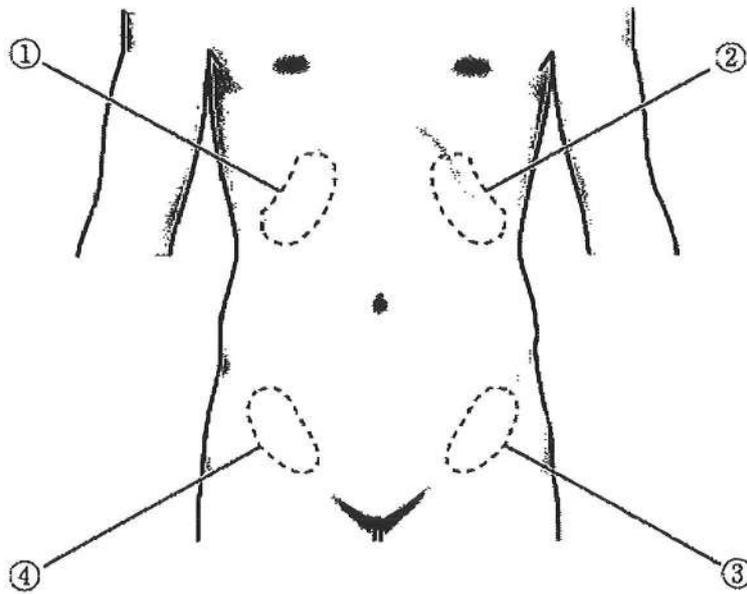
11 止血機構を有するのはどれか。

1. 血漿
2. 細胞内液
3. 脳脊髄液
4. リンパ液

12 胃潰瘍による少量の吐血の特徴はどれか。
gastric ulcer

1. 泡沫状
2. アセトン臭
3. アンモニア臭
4. コーヒー残渣様

13 腹部の図を示す。



胆嚢炎でみられる腹痛の典型的な部位はどれか。
cholecystitis

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

14 深部静脈血栓症(DVT)の危険因子はどれか。
deep vein thrombosis

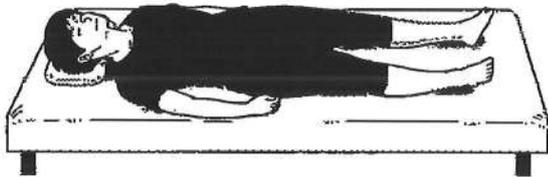
1. 若年
2. 水分過多
3. 長期臥床
4. るいそう

15 肝性脳症の原因物質はどれか。
hepatic encephalopathy

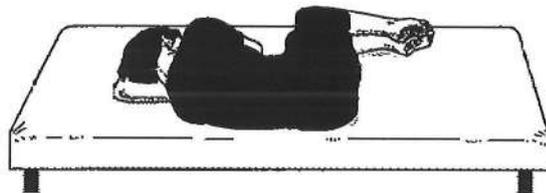
1. プリン体
2. アンモニア
3. グルコース
4. トリグリセライド

16 腰椎穿刺の体位を図に示す。
適切な体位はどれか。

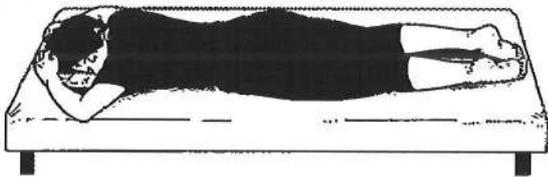
1.



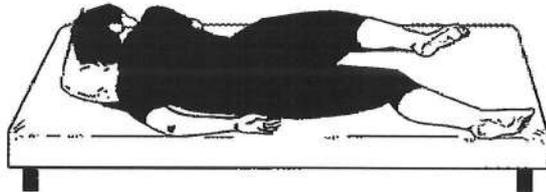
2.



3.



4.



17 免疫抑制作用があるのはどれか。

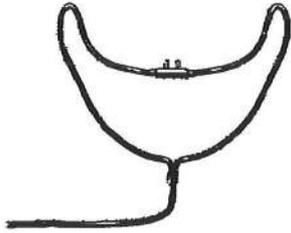
1. 抗ヒスタミン薬
2. インターフェロン
3. ヒト免疫グロブリン
4. 副腎皮質ステロイド

- 18 誤嚥のリスクがある患者の食事援助で適切なのはどれか。
1. きざみ食を選ぶ。
 2. 粘り気の強い食品を選ぶ。
 3. 食事中は頸部前屈位をとる。
 4. 食後は速やかに仰臥位をとる。
- 19 医療者間のコミュニケーションのエラーを防ぐために適切なのはどれか。
1. 薬剤の単位は省略する。
 2. 与薬の指示は口頭で行う。
 3. 伝えられた情報の内容を復唱し確認し合う。
 4. 伝えられた情報の不明点に関する質問は控える。
- 20 接触感染予防策として使用するのとはどれか。
1. 陰圧室
 2. ガウン
 3. ゴーグル
 4. N95 マスク
- 21 静脈血採血で針を刺入した直後に、患者にしびれがないかを確認する目的はどれか。
1. 感染症の予防
 2. 神経損傷の予防
 3. 皮下血腫の予防
 4. 血管迷走神経反応の予防

22 酸素投与器具を図に示す。

最も高濃度の酸素を吸入できるのはどれか。

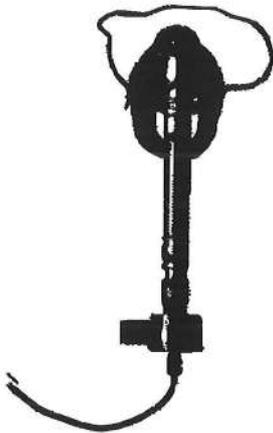
1. 鼻カニューレ



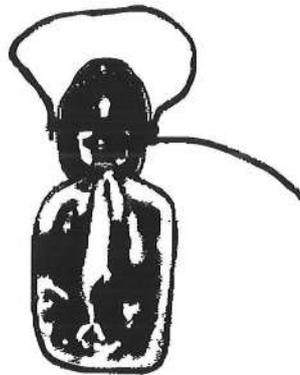
2. 簡易酸素マスク



3. ベンチュリーマスク



4. リザーバー付きマスク



23 包帯法で前腕部を固定した場合の観察項目で適切なのはどれか。

1. 悪寒の有無
2. 末梢冷感の有無
3. 全身倦怠感の有無
4. 上腕動脈の触知の有無

24 がん性疼痛に使用する強オピオイド鎮痛薬はどれか。

1. コデイン
2. モルヒネ
3. カルバマゼピン
4. ロキソプロフェン
5. アセトアミノフェン

25 対光反射に関与するのはどれか。

1. 動眼神経
2. 滑車神経
3. 三叉神経
4. 外転神経
5. 顔面神経

26 骨格筋の収縮で正しいのはどれか。

1. アクチンがATPを消費する。
2. 細胞外カルシウムイオンが必要である。
3. 筋収縮の結果、グリコゲンが蓄積される。
4. ミオシンフィラメントの長さは変化しない。

27 痛みの伝導で正しいのはどれか。

1. 一次ニューロンは運動ニューロンよりも伝導速度が速い。
2. 刺激を受けた側と同側の脊髄を上行する。
3. 延髄で次の神経細胞とシナプスを作る。
4. 視床で次の神経細胞とシナプスを作る。

28 膀胱壁の蓄尿反射を引き起こす刺激はどれか。

1. 圧 迫
2. 痛 み
3. 温 度
4. 伸 展

29 肺血栓塞栓症の確定診断に用いるのはどれか。

pulmonary thromboembolism

1. Dダイマー
2. ヘモグロビン
3. プロトロンビン時間<PT>
4. 活性化部分トロンボプラスチン時間<APTT>

30 令和3年(2021年)の日本の医療保険制度で正しいのはどれか。

1. 先進医療は保険診療が適用される。
2. 自己負担の割合は一律で3割である。
3. 国民健康保険加入者は75歳以上である。
4. 被用者保険加入者は人口の約6割である。

31 法律とその内容の組合せで正しいのはどれか。

1. 児童福祉法 ————— 医療的ケア児が在籍する学校への看護師の配置
2. 母子保健法 ————— 経済的に困窮した妊産婦の助産施設入所
3. アルコール健康障害 対策基本法 ————— 20歳未満の飲酒の禁止
4. 障害者虐待の防止、
障害者の養護者に対する
支援等に関する法律
〈障害者虐待防止法〉 ————— 市町村への通報義務

32 廃棄物とその処理に関する記述で正しいのはどれか。

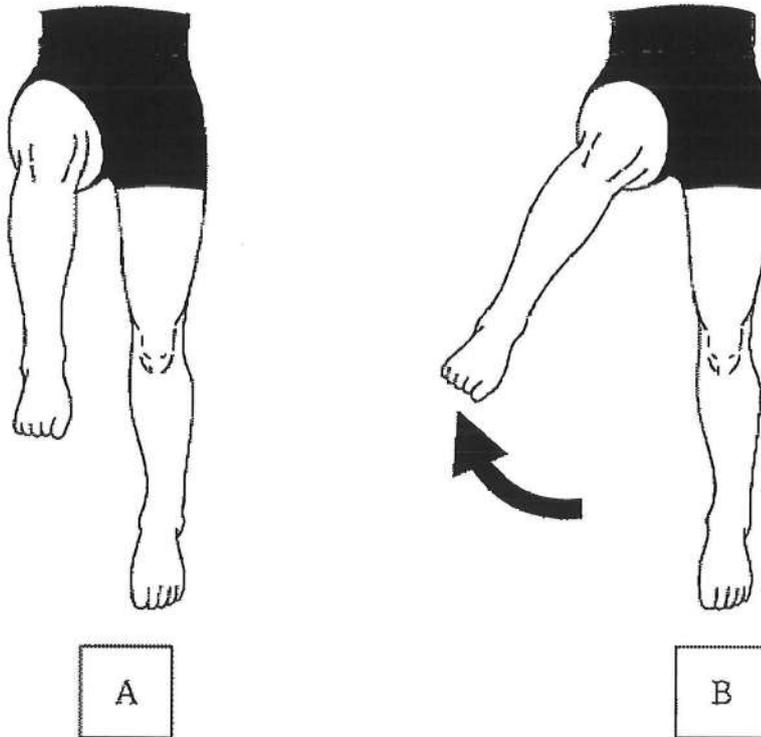
1. 産業廃棄物は都道府県の責任で処理される。
2. 在宅医療に伴う廃棄物は医療廃棄物として取り扱う。
3. 事業活動に伴って生じる廃棄物は全て産業廃棄物として取り扱う。
4. 使用済みの注射針は、専用廃棄容器を用いれば一般廃棄物とすることができる。

33 禁酒を指導されている患者が「禁酒できたらもっと健康的な生活になるね。自分は我慢強いところがあるからやれると思う」と話し、3週間禁酒を続けている。

患者の行動変容を促したのはどれか。

1. 自己洞察
2. 自己効力感
3. 自己中心性
4. 自己同一性

- 34 臥床して右股関節と右膝関節を90度屈曲位にした図をAに示す。
Aの状態から右下肢を矢印の方向に動かしてBの状態になった。



このときの股関節の運動はどれか。

1. 外 旋
 2. 外 転
 3. 内 旋
 4. 内 転
- 35 Fowler(ファウラー)位で膝窩に枕を挿入する理由で正しいのはどれか。
1. 頸部の前屈を防ぐ。
 2. 上半身のずれを防ぐ。
 3. 脊柱の生理的彎曲を保つ。
 4. 尖足を防ぐ。

36 腹部の打診で観察するのはどれか。

1. 鼓音
2. 反跳痛
3. 筋性防御
4. 腫瘤の硬さ

37 尿比重が低くなるのはどれか。

1. 糖尿病
diabetes mellitus
2. 尿崩症
diabetes insipidus
3. 水欠乏性脱水
4. ネフローゼ症候群
nephrotic syndrome

38 睡眠の特徴で正しいのはどれか。

1. 新生児の睡眠は单相性である。
2. 乳児の1日の総睡眠量は7時間前後である。
3. 成人期では一晩で睡眠周期を10回程度繰り返す。
4. 老年期では早朝覚醒が起こりやすい。

39 歯ブラシを用いたブラッシングで歯周ポケットの清掃に適しているのはどれか。

1. バス法
2. フォーンズ法
3. ローリング法
4. スクラビング法

40 右腕に点滴静脈内注射をしている成人患者の寝衣(パジャマ)の交換について正しいのはどれか。

1. 寝衣(パジャマ)は右袖から脱がせる。
2. 右袖を脱ぐ際に、点滴ボトルはベッド上に置く。
3. 清潔な寝衣(パジャマ)は左袖から着せる。
4. 清潔な寝衣(パジャマ)の右袖には、先に点滴ボトルを通してから腕を通す。

41 頭部の切創からの出血で選択する止血法はどれか。

1. 止血帯法
2. タンポン法
3. 間接圧迫止血法
4. 直接圧迫止血法

42 在宅療養中の高齢者のケアマネジメントで正しいのはどれか。

1. サービス提供は専門職の判断を優先する。
2. 高齢者本人はサービス担当者会議の構成員である。
3. インフォーマルサービスはサービス計画に入らない。
4. 地域包括支援センターが施設サービス計画を作成する。

43 訪問看護指示書について正しいのはどれか。

1. 訪問看護開始後に発行される。
2. 使用中の医療機器が記載される。
3. 訪問看護指示期間は最大5か月である。
4. 訪問看護ステーションの管理者が交付できる。

44 訪問看護師が利用者の手段的日常生活動作(IADL)を確認するための質問で正しいのはどれか。

1. 「自分で洗濯ができますか」
2. 「着替えは1人でできますか」
3. 「ご飯は自分で食べられますか」
4. 「1人でお風呂に入ることができますか」

45 Aさん(80歳、男性)は人工肛門造設術を受けて自宅に退院した。ストーマ管理のため、訪問看護を週に1回利用している。Aさんは電車で隣県に住んでいる孫に会いに行きたいと希望している。

Aさんの外出に向けた目標で最も適切なのはどれか。

1. 食物繊維を避けた食事が摂れる。
2. 装具が剝がれた場合に対処できる。
3. 起こりやすい皮膚障害が理解できる。
4. 装具交換に必要な物品の購入先がわかる。

46 ノーリフトケアに該当するのはどれか。

1. 車椅子の後ろから患者を抱えて座位を整える。
2. 患者を抱きかかえてポータブルトイレに移動する。
3. スライディングシートを使って患者をベッド上で移動する。
4. ボディメカニクスを活用してベッド上で患者の上体を起こす。

47 職業に伴う作業や環境と健康障害の組合せで正しいのはどれか。

1. 紫外線の曝露 ————— 緑内障
glaucoma
2. 情報機器作業 ————— 眼疲労
3. 工具や機械の振動 ————— 手指の熱感
4. 重量物の取り扱い ————— 骨粗鬆症
osteoporosis

48 意思決定が困難な成人患者の代理意思決定で適切なのはどれか。

1. 意思決定者を医療者が指名する。
2. 患者の意思を推定して判断する。
3. 意思決定した内容は変更できない。
4. 意思決定者に親しい友人は含まれない。

49 慢性疾患がある成人のアドヒアランスを高める要因はどれか。

1. 自覚症状がない。
2. 治療費が高額である。
3. 療養方法が複雑である。
4. 療養方法の利益と害が分かる。

50 廃用症候群の説明で適切なのはどれか。

disuse syndrome

1. がん患者ではみられない。
2. 尿管結石を発症しやすい。
3. 加齢とともに進行は遅くなる。
4. 二次的に高血圧を発症しやすい。

51 細菌性の肺炎と診断された慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の酸素療法で正しいのはどれか。
pneumonia chronic obstructive pulmonary diseases

1. 酸素中毒を避けるために高流量にする。
2. 鼻カニューレでの最大投与量は8L/分である。
3. CO₂ナルコーシス予防のために酸素濃度を高くする。
4. 経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)が投与量の指標となる。

52 患者にペースメーカー植込みの有無を事前に確認すべき検査はどれか。

1. エックス線撮影
2. 磁気共鳴画像(MRI)
3. 超音波検査
4. 脳波検査

53 電解質異常と症候の組合せで正しいのはどれか。

1. 高カリウム血症 ————— 心室細動
ventricular fibrillation
2. 低カリウム血症 ————— QT時間の短縮
3. 高ナトリウム血症 ————— 水中毒
water intoxication
4. 低ナトリウム血症 ————— 口 渴

54 腓骨神経麻痺のアセスメントで観察するのはどれか。

1. 膝関節の屈曲
2. 足関節の背屈
3. 膝窩の知覚鈍麻
4. 足底の知覚鈍麻

55 骨折時の直達牽引の説明で正しいのはどれか。

1. 開放損傷には適さない。
2. 介達牽引に比べ牽引力が弱い。
3. 骨に鋼線を刺入して牽引する。
4. 弾性包帯を巻き直す必要がある。

56 高齢の親の介護が必要となった家族の発達課題で正しいのはどれか。

1. 社会性の縮小
2. 家族役割の維持
3. 家族関係の再構築
4. 子離れ・親離れの確立

57 介護保険制度の説明で正しいのはどれか。

1. 措置制度である。
2. 共助を実現する仕組みである。
3. 介護保険料は65歳から徴収される。
4. 地域密着型サービスの指定・監督は都道府県が行う。

58 Aさん(70歳)は脳梗塞cerebral infarctionの後遺症で片麻痺があり、要支援2と認定された。杖で歩行しており、尿意はある。リハビリテーション病院から介護施設に入所することになった。

Aさんの排泄に関する支援で適切なのはどれか。

1. 一定の時間間隔で排尿誘導を行う。
2. ベッドサイドにポータブルトイレを設置する。
3. トイレの場所がわかりやすいように目印をつける。
4. トイレ移動時は滑り止めのついた靴を履くように指導する。

59 Aさん(89歳、女性)は災害によって自宅が損壊し、避難所で生活を始めた。看護師が面談を行うと「食欲がない。横になっても眠れず、すぐに目が覚めてしまう」と話し、元気がない様子である。避難所ではトイレと食事以外はほとんど動かずに過ごしている。Aさんには被災前の通院歴はなく、日常生活動作(ADL)は自立している。

看護師の対応で優先度が高いのはどれか。

1. 頑張るように言葉をかける。
2. 直ちに入院できる病院を探す。
3. 軽い運動ができるように環境を整える。
4. 睡眠薬の処方について医師と相談する。

60 正期産で出生した健康な乳児で正しいのはどれか。

1. 出生 36 時間後に初めて胎便が排泄される。
2. 学童と比べて胃食道逆流現象が起きやすい。
3. 母乳栄養児では生後 3 か月以降も生理的な黄疸が遷延する。
4. 経膈分娩で出生した児の腸内細菌叢は Döderlein(デーデルライン)桿菌が優勢である。

61 標準的な幼児の基本的な生活習慣についての組合せで正しいのはどれか。

1. 2歳 ————— 1人で洗顔ができる。
2. 3歳 ————— 排便後の後始末ができる。
3. 4歳 ————— 昼寝を1日2回する。
4. 5歳 ————— 1人で衣類を着ることができる。

62 ホルモンとその働きの手合せで正しいのはどれか。

1. エストロゲン ————— 骨端軟骨板閉鎖
2. 成長ホルモン ————— 子宮の増大
3. テストステロン ————— 乳房の発育
4. プロゲステロン ————— 排 卵

63 生後6か月の男児。保護者が児の尿の色が濃いことを心配して来院し、尿検査のため採尿することになった。採尿に使用する用具(別冊No. 1)を別に示す。

この男児の採尿に使用する用具として適切なのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

別 冊

No. 1

64 日本の人口動態統計における死亡率と計算式の組合せで正しいのはどれか。

1. 周産期死亡率 ————— $(\text{妊娠満12週以後の死産数} + \text{早期新生児死亡数}) \div \text{出生数} \times 1,000$
2. 新生児死亡率 ————— $\text{新生児死亡数} \div (\text{出生数} + \text{死産数}) \times 1,000$
3. 乳児死亡率 ————— $\text{乳児死亡数} \div \text{出生数} \times 1,000$
4. 妊産婦死亡率 ————— $\text{妊産婦死亡数} \div \text{出生数} \times 100,000$

65 Aさん(25歳、初産婦)は妊娠経過が順調であり、自然分娩を希望している。妊娠40週2日、陣痛発来し入院した。未破水、陣痛の間欠6分 発作20秒で産痛を訴えている。入院してから4時間経過しており、現在、子宮口4cm開大している。

Aさんへの援助で適切なのはどれか。

1. 足浴を勧める。
2. 安静に過ごすよう促す。
3. 飲食は控えるように説明する。
4. 陣痛にあわせて努責を開始させる。

66 母乳栄養を希望している母親への説明で適切なのはどれか。

1. 「お母さんは飲酒しても大丈夫です」
2. 「赤ちゃんは日焼けした方が良いです」
3. 「お母さんは納豆を多く摂取しましょう」
4. 「お母さんはコーヒーを1日6杯以上飲んでも大丈夫です」

67 仕事上のストレスに対して、ラザルスが提唱した情動焦点型のストレスコーピングはどれか。
Lazarus, R. S.

1. 好きな漫画を読む。
2. 仕事に役立つ本で学習する。
3. 休日も出勤して仕事を終わらせる。
4. 同僚とプレゼンテーションの練習をする。

68 Aさんは大地震で被災し、負傷者や亡くなった人を多く目撃した。1か月後、避難所を巡回していた看護師に、自分だけが生き残って申し訳ないと感じていると話した。

Aさんへの声かけで適切なのはどれか。

1. 「生き残ったAさんは幸せですよ」
2. 「そう感じるのは正常な反応ですよ」
3. 「嫌なことは早く忘れたほうがいいですよ」
4. 「頑張ってこれを乗り越えないといけません」

69 ヤーロムの集団精神療法の治療的因子のうち、普遍性に関する説明はどれか。
Yalom, I. D.

1. これまで知らなかった情報や助言を得ることができる。
2. 人間の生や死、生きる意味について考えることができる。
3. 他の人の回復と成長が、自分の回復と成長への希望となる。
4. 自分の抱えている問題は、自分だけが抱えている問題ではないと気付く。

70 4人の小児の入院患者を受け持っている日勤の看護師が、患者に付き添っている母親から立て続けにナースコールを受けた。

訪室の優先順位が高いのはどれか。

1. 胃腸炎の3歳児、母親が抱っこ中に嘔吐した。
gastroenteritis
2. 化学療法中の7歳児、点滴静脈内注射の刺入部が腫れた。
3. 急性肺炎の2歳児、抗菌薬の点滴静脈内注射が終了した。
acute pneumonia
4. 鼠径ヘルニア手術後の1歳児、ヘパリンロック中の静脈内留置針が抜けた
inguinal hernia
が、出血はない。

71 看護職員の交代勤務で正しいのはどれか。

1. サーカディアンリズムは保たれる。
2. メンタルヘルスへの影響は少ない。
3. 2交代制より3交代制を採用する施設が多い。
4. 2交代制における夜勤中の仮眠が推奨されている。

72 災害救助法について正しいのはどれか。

1. 災害障害見舞金の支給がある。
2. 救助の種類に助産は含まれない。
3. 救助に要する費用は国が全額負担する。
4. 目的は災害を受け又は受ける恐れのある者の保護と社会の秩序の保全である。

73 4人部屋に入院中のAさん(外国籍)は3日後に手術予定である。Aさんは1日3回、決まった時間に毎日病室でお祈りをしている。看護師が訪室したところ、同室のBさんから「お祈りの声が気になってゆっくり休めない」と相談された。

看護師の対応で適切なのはどれか。

1. Bさんに有料個室への転室を勧める。
2. Aさんにお祈りは手術当日に行うよう説明する。
3. 同室者全員に病室の環境のアンケート調査を行う。
4. Aさんに病室とは別にお祈りのための場所を準備する。

74 細胞内に受容体があるホルモンはどれか。

1. インスリン
2. アドレナリン
3. オキシトシン
4. プロラクチン
5. テストステロン

75 体液について正しいのはどれか。

1. 血漿は細胞内液である。
2. 間質液は細胞外液である。
3. リンパは細胞内液である。
4. 体液は体重の 30 % である。
5. 細胞外液の方が細胞内液より多い。

76 パソプレシンが作用する腎臓の部位はどれか。

1. 糸球体
2. 集合管
3. 遠位尿細管
4. 近位尿細管
5. Henle(ヘンレ)のループ(係蹄)

77 腰部脊柱管狭窄症による間欠性跛行が改善する腰部の動きはどれか。
lumbar spinal canal stenosis

1. 後屈
2. 前屈
3. 左回旋
4. 左側屈
5. 右側屈

78 子宮頸癌で異常に増殖するのはどれか。
cancer of the uterine cervix

1. 子宮筋細胞
2. 神経芽細胞
3. 線維芽細胞
4. 平滑筋細胞
5. 扁平上皮細胞

79 市町村保健センターについて正しいのはどれか。

1. 市町村に設置義務がある。
2. センター長は原則として医師である。
3. 栄養士、歯科衛生士の配置が必須である。
4. 令和6年(2024年)の全国の設置数は468か所である。
5. 健康相談、保健指導、健康診査など住民に対するサービスを行う。

80 Aさん(91歳、男性)は市営団地の2階に1人で暮らしている。高血圧症で内服治療しているが、他に既往歴はない。日常生活動作<ADL>は自立している。トイレや浴室の段差でつまずくことがあり、手すりを設置した。最近家でテレビを観て過ごすことが多くなった。

Aさんの生活状況で、国際生活機能分類(ICF)の「活動」に該当するのはどれか。

1. 1人暮らし
2. 手すりの設置
3. 段差でのつまずき
4. テレビを観て過ごす
5. 日常生活動作<ADL>は自立

81 Aちゃん(6歳、女兒)は食物アレルギーがある食品を誤食し、5分後に全身の蕁麻疹と嘔気が出現した。その後2回嘔吐し、喘鳴を伴う咳嗽が出現した。

最初に行う処置で適切なのはどれか。

1. 胃洗浄
2. 静脈路の確保
3. 抗ヒスタミン薬の内服
4. アドレナリンの筋肉内注射
5. 副腎皮質ステロイドの吸入

82 キューブラー・ロス, E. による死にゆく人の心理過程のなかで、肺癌と診断された人が、喫煙をやめることで病気をなかつたことにできるのではないかと考える段階はどれか。

1. 怒り
2. 受容
3. 取引
4. 否認
5. 抑うつ

83 エネルギー代謝を示す反応はどれか。2つ選べ。

1. 異化
2. 角化
3. 石灰化
4. 同化
5. 瘢痕化

84 発症にダニが関与するのはどれか。2つ選べ。

1. 疥癬
scabies
2. オウム病
psittacosis
3. 腸チフス
typhoid fever
4. ツツガムシ病
tsutsugamushi disease
5. 肺アスペルギルス症
pulmonary aspergillosis

85 薬剤の形状として貼付剤があるのはどれか。2つ選べ。

1. インスリン
2. アドレナリン
3. フェンタニル
4. ニトログリセリン
5. アセトアミノフェン

86 特定健康診査・特定保健指導について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 医療保険者が実施主体である。
2. がんのスクリーニングを目的とする。
3. 特定健康診査の受診者全員に特定保健指導を実施する。
4. 対象は、75歳以上の医療保険被保険者・被扶養者である。
5. 根拠法令は、高齢者の医療の確保に関する法律〈高齢者医療確保法〉である。

87 チーム医療におけるタイムアウトの説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 処置の終了時に実施する。
2. 侵襲性の高い処置の際に実施する。
3. チームの全員が作業の手を止めて集合する。
4. チームメンバー間で作業を分担して実施する。
5. 患者とコミュニケーションを取りながら実施する。

88 老視の原因はどれか。2つ選べ。

1. 房水の循環障害
2. 毛様体筋の萎縮
3. 虹彩の弾力性の低下
4. 網膜神経細胞の減少
5. 水晶体の弾力性の低下

89 常位胎盤早期剝離のリスク因子はどれか。2つ選べ。
placental abruption

1. 経産婦
2. 妊娠糖尿病
gestational diabetes mellitus
3. 帝王切開術の既往
4. 妊娠高血圧症候群
hypertensive disorders of pregnancy
5. 常位胎盤早期剝離の既往
placental abruption

90 1,500 mLの輸液を朝6時から18時にかけて点滴静脈内注射で実施する。20滴で1 mLの輸液セットを用いた場合の1分間の滴下数を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答： 滴/分

0 0

1 1

2 2

3 3

4 4

5 5

6 6

7 7

8 8

9 9

次の文を読み 91～93 の問いに答えよ。

A さん(80 歳、男性、要介護 2)は 1 人で暮らしている。脳出血を発症し、急性期
cerebral hemorrhage
病院で地域連携クリニカルパスに沿って治療が行われた。軽度の右不全麻痺と失語が
あるため、回復期リハビリテーション病院に転院した。A さんは自宅退院を希望し
ている。退院後はかかりつけの診療所へ通院し、訪問看護と訪問介護を利用する予定
である。

91 回復期リハビリテーション病院の看護師が A さんに行う地域連携クリニカルパ
スの説明で適切なのはどれか。

1. 「診療計画を介護支援専門員に提供します」
2. 「治療内容は急性期病院から引き継いでいます」
3. 「退院後の介護サービスは医療ソーシャルワーカーが決めます」
4. 「リハビリテーションの内容をお住まいの市町村に報告します」

92 退院 1 か月後、隣町に住んでいる長男が A さん宅を訪ねると、A さんは嘔吐と
下痢をしていた。長男が付き添ってかかりつけの診療所を受診したところ、A さ
んは感染性胃腸炎と診断された。A さんの長男から依頼を受け、訪問看護師は A
infectious gastroenteritis
さんの体調確認のために臨時で訪問した。

このときの訪問看護師の対応で正しいのはどれか。

1. 保健所に感染性胃腸炎の発生届を提出する。
infectious gastroenteritis
2. A さんが石鹸と流水で手洗いできているか確認する。
3. 介護支援専門員に訪問介護を中止するよう連絡する。
4. 長男に吐物で汚染した衣類は洗濯して室内に干すよう伝える。

93 退院2か月後、訪問看護師が訪問するとAさんの長男から「最近、父がよく話してくれるようになったが、言いたいことが伝わらずイライラしていることがある。どう対応していいかわからない」と相談があった。

Aさんとのコミュニケーションについて、家族への助言で適切なのはどれか。

1. 「Aさんに何度も聞き返しましょう」
2. 「Aさんが言い間違えたときは訂正しましょう」
3. 「Aさんに短くわかりやすい言葉で話しかけましょう」
4. 「Aさんの表情よりも言葉での表現を大事にしましょう」

次の文を読み 94～96 の問いに答えよ。

A さん(56 歳、男性、会社員)は胸部食道癌と診断され、開胸開腹下で食道切除再建術を受けることになった。

病状と手術の説明を聞き「酒もほとんど飲まないのに、食道癌になっちゃうんですね」と落ち込んだ様子で「早くよくなりたい。20 歳から毎日 20 本吸っていたタバコも手術が決まってやめました」と話した。

身体所見：身長 168 cm、体重 54 kg、BMI 19。

血液所見：Hb 13.6 g/dL、Ht 41.4 %、血小板数 28 万/ μ L、プロトロンビン時間 11 秒、総蛋白 6.2 g/dL、アルブミン 3.8 g/dL、空腹時血糖 102 mg/dL、HbA1c 4.8 %。

呼吸機能所見：%VC 78 %、FEV₁ % 67 %。

94 術前の A さんの状況から、術後に最も起こる可能性の高い合併症はどれか。

1. 出血
2. 無気肺
atelectasis
3. 縫合不全
4. 深部静脈血栓症(DVT)
deep vein thrombosis

95 Aさんは、右開胸開腹胸部食道亜全摘術、胃を用いた食道再建術、頸部リンパ節郭清術を受け、胸腔ドレーン、腹腔内ドレーン、頸部皮下ドレーン、胃管減圧チューブ、経腸栄養チューブ、膀胱留置カテーテルが挿入された。

術後1日には看護師が介助してベッドサイドで立位になり、足踏みを行った。術後2日には病室から廊下に出て歩行し、看護師がドレーンバッグを持つなどの介助をした。Aさんは「こんなにたくさん管が入るとは思わなかった。1人ではとても歩けない」と話した。

Aさんの離床を援助するときのドレーン類の取り扱いで正しいのはどれか。

1. ドレーン類は引っ張った状態で保持する。
2. ドレーンを気にしないで歩いてよいとAさんに伝える。
3. ドレーンバッグは、ドレーン挿入部よりも高い位置に掛ける。
4. 離床前後にドレーンの固定位置が変わっていないことを確認する。

96 Aさんは術後5日に経口摂取が開始となり、流動食、粥食を経て、術後2週には普通食を1日6回に分けて食べるようになった。食事については「すぐおなかがいっぱいになって、入っていかない感じなんだよね。食べ物を少しずつ口に入れる習慣がついたな」と言いながら、各食50～70%を摂取していた。

Aさんの退院時の食事指導で適切なのはどれか。

1. 「よくかんでから飲み込んでください」
2. 「食後は早く横になって休んでください」
3. 「退院後は間食をせずに3食の食事量を確保してください」
4. 「飲み込みにくいときは、お茶や汁物で流し込むといいです」

次の文を読み 97～99 の問いに答えよ。

A さん(60 歳、女性、会社員)は 15 年前に糖尿病と診断され血糖降下薬を服用していた。その後、微量のアルブミン尿が出現し、腎機能は徐々に悪化したため、10 年前からインスリン療法が開始された。A さんは外来受診時に労作時の息切れを訴えており、肺野の水疱音と下肢の浮腫が認められ、精査加療目的で入院した。入院時は、身長 155 cm、体重 65 kg で 1 か月前から 5 kg 増加している。体温 36.3℃、呼吸数 28/分、脈拍 82/分、血圧 160/82 mmHg であった。血液検査データは、Hb 8.5 g/dL、HbA1c 8.5%、アルブミン 3.1 g/dL、クレアチニン 3.5 mg/dL、K 4.0 mEq/L で、推算糸球体濾過量(eGFR)は 15 mL/分/1.73 m² であった。

97 A さんの入院時のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 栄養状態は良好である。
2. 高カリウム血症である。
3. 肺水腫の危険性がある。
pulmonary edema
4. 血糖コントロールは良好である。

98 医師は A さんに透析導入の可能性について説明した。A さんは「週に 3 回も病院に来るのは無理です。他の患者さんから家でできる腹膜透析もあるって聞いたけど、どういうものかしら」と看護師に尋ねた。

A さんへの腹膜透析に関する説明内容で適切なのはどれか。

1. 入浴はできない。
2. 腸炎の危険性がある。
3. 腹腔にカテーテルを挿入する。
4. 心血管系への負担が血液透析より大きい。

99 その後、Aさんには連続携行式腹膜透析法(CAPD)が開始された。同時に腹膜透析の方法と必要な自己管理についての指導が開始となった。現在の血液検査データは、Hb 9.0 g/dL、アルブミン 2.9 g/dL、クレアチニン 2.5 mg/dL、K 3.8 mEq/Lであった。また腹膜透析開始後の除水量は平均 450 mL/日、尿量は平均 900 mL/日であった。

現在のAさんに対する食事指導の内容で適切なのはどれか。

1. 蛋白質は0.2 g/kg/日とする。
2. カリウムを含む食品の制限はない。
3. 水分摂取量は除水量と同量とする。
4. 総エネルギーは50 kcal/kg/日とする。

次の文を読み 100～102 の問いに答えよ。

Aさん(75歳、男性)は妻(70歳)と2人で暮らしている。日中は本を読んで過ごすことが多い。2か月前からAさんは、椅子から立ち上がる時にバランスを崩すことや「寝室に女の子がいる」と言うことがあった。また、就寝後、夜間に大きな声で「おーい」と叫んで手を振る行動が継続してみられるようになった。心配になった妻がAさんと病院を受診し、初期のLewy(レビー)小体型認知症と診断された。Aさんは要介護認定の申請をし、要支援1と認定された。

100 Aさんに出現している症状はどれか。2つ選べ。

1. 幻視
2. 徘徊
3. 観念失行
4. 実行機能障害
5. レム睡眠行動障害

101 診断から1か月後の外来受診時に、Aさんの妻から看護師に「夫は夜8時くらいに入浴しますが、最近、入浴時にふらつくことがあるそうです。ふらついた時は壁や浴槽の端に手をつけてバランスをとっていると聞きました。夫が安全に入浴するにはどうすればよいか教えてほしいです」と相談があった。

看護師のAさんの妻への助言で適切なのはどれか。

1. 「お風呂場に手すりを付けましょう」
2. 「奥さんが入浴を手伝ってあげてください」
3. 「バスマットは床と異なる色にしましょう」
4. 「入浴前に1時間以上の睡眠をとりましょう」

102 診断から4か月後、病院受診時にAさんは、外来看護師に「最近、歩こうとすると足が前に出ないことがあります、地域の行事に参加して、いろいろな人と交流しながら、妻との生活を続けたいです。今できていることを維持するために、運動が効果的と聞きました。何か方法はありますか」と話した。

外来看護師の助言として最も適切なのはどれか。

1. 「毎日、散歩に行きましょう」
2. 「家の中で運動できるサービスがありますよ」
3. 「次回の受診時に医師に相談してみましょう」
4. 「介護予防通所リハビリテーションが利用できますよ」

次の文を読み 103～105 の問いに答えよ。

A ちゃん(10 歳、女兒)は両親と 3 人で暮らしている。3 歳の時に気管支喘息と診断された。6 歳までは喘息発作で年に 1 回は入院していたが、8 歳から発作を起こすことはなくなり、定期受診が必要なくなった。ダニとハウスダストに感作がある。

103 本日 A ちゃんは、学校から帰ってきた後から咳嗽がみられ、元気がなかった。夜「苦しくて眠れない」と訴え、母親とともに救急外来を受診した。口元での喘鳴が著明であり、問診すると途切れ途切りに話した。救急外来受診時のバイタルサインは、体温 36.6℃、呼吸数 36/分、心拍数 120/分、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂) 93%であった。

A ちゃんの気管支喘息の発作強度はどれか。

1. 小発作
2. 中発作
3. 大発作
4. 呼吸不全

104 救急外来で気管支拡張薬の吸入が行われたが、吸入後も呼吸数 32/分、経皮的動脈血酸素飽和度 $\langle\text{SpO}_2\rangle$ 94%(room air)だったため、入院することになった。入院後、鼻カニューレによる酸素投与と点滴静脈内注射が開始され、1日3回のステロイド薬の静脈内注射と1日4回の気管支拡張薬の吸入が開始された。

翌日のバイタルサインは体温 36.8℃、呼吸数 22/分、心拍数 94/分、経皮的動脈血酸素飽和度 $\langle\text{SpO}_2\rangle$ 97%(room air)で、酸素投与が中止された。聴診で喘鳴が聴取された。Aちゃんは「楽になった。お腹がすいた」などと勢いよく話し、笑顔が見られるようになった。

このときの A ちゃんへの看護で適切なのはどれか。

1. 排痰を促す。
2. 胸式呼吸を促す。
3. 水分摂取を制限する。
4. 食事はとろみ食にする。

105 A ちゃんの咳嗽は軽快し、全身状態も良好で退院が決定した。A ちゃんに学校での生活状況を確認すると「最近、喘息発作はなかったけど、体育の時は咳が出たり苦しくなったりすることが時々あった」と話した。そのため、A ちゃんと母親に、退院後も抗アレルギー薬の内服と副腎皮質ステロイド薬の吸入を続けるよう医師が説明した。

看護師の A ちゃんに対する退院後の生活についての指導で適切なのはどれか。

1. 「風邪が流行ったら学校を休みましょう」
2. 「咳が出なくなったら薬はやめましょう」
3. 「咳が出なくても体育の授業は見学しましょう」
4. 「学校で咳が続くときは担任の先生に伝えましょう」

次の文を読み 106～108 の問いに答えよ。

A ちゃん(1 歳 9 か月)は両親と保育所に通う姉の B ちゃん(3 歳)と 4 人で暮らしている。A ちゃんは重症の仮死で出生し、脳性麻痺と診断されている。食事、排泄、更衣は全介助である。食事はきざみ食を摂取しており、浣腸によって 2 日に 1 回排便がある。A ちゃんは全身の筋緊張が強く、肘関節と手関節は屈曲し、両下肢が交差し伸展する姿勢が多い。声かけやタッチングで笑顔がみられるが、発語はない。

A ちゃんは月 2 回の外来受診をしており、受診の際に母親が看護師に「A は食欲がありますが、時々むせてしまいます。日中は機嫌よく過ごすことが多いのですが、手足を突っ張らせて背を反り返ることがあり、夜眠らないことが時々あります」と話している。

106 A ちゃんへの支援で優先度が高いのはどれか。

1. 感染対策の見直し
2. 食事の形態の変更
3. 排便のコントロール
4. 睡眠パターンのコントロール

107 母親は外来看護師に「姉の B は最近、私に甘えて傍を離れません。A の世話で B に関わる時間が少ないので、短時間でも B とだけじっくり関わられるようにしたいです」と話した。父親は会社員で夜の帰りが遅い。父親が B ちゃんを保育所へ送り、母親が A ちゃんを連れて迎えに行く。両親は、A ちゃんの育児をできるだけ在宅で行いたいと思っており、訪問看護を週 1 回 1 時間利用している。

このときの外来看護師の母親への返答で最も適切なのはどれか。

1. 「B ちゃんに A ちゃんの状況を説明しましょう」
2. 「お父さんに保育所のお迎えもしてもらいましょう」
3. 「B ちゃんを預かるファミリーサポートを利用しましょう」
4. 「訪問看護の時間を B ちゃんのお迎えの時間にできるか相談してみましよう」

108 Aちゃんは2歳2か月になった。現在まで療育は受けていない。母親は、訪問看護師に「Aの発達を促すような場所に通いたいのですが、誰に聞くと紹介してくれるでしょうか」と質問した。

訪問看護師がAちゃんの母親に紹介する者として最も適切なのはどれか。

1. 民生委員
2. 相談支援専門員
3. 地域の保育所の保育士
4. 訪問診療をしている医師

次の文を読み 109～111 の問いに答えよ。

Aさん(33歳、初妊婦、会社員)は夫と2人で暮らしている。身長160cm、非妊時体重60kg。妊娠17週1日の妊婦健康診査にて、児の発育に異常はなかった。体重は66kgで4週前から4kg増加している。血圧120/78mmHg。尿蛋白(-)、浮腫(-)。排便は妊娠前と変わらず2日に1回出ている。Aさんは「同じ週数の友達は胎動を感じると言っていたのに、自分は感じられず心配です」と話す。

109 このときのAさんの状態で正常から逸脱しているのはどれか。

1. 血 圧
2. 排便回数
3. 体重の増加量
4. 胎動の無自覚

110 妊娠22週2日。妊婦健康診査で母児ともに経過は順調であった。Aさんは夫の立ち合い分娩を希望しており「産後は夫も育児休業を取得する予定です。最近この地域に引っ越してきたばかりで、今のうちに妊娠週数が同じくらいのお母さんと仲良くなって色々と情報交換したいです」と話す。

このときのAさんへの支援で最も適切なのはどれか。

1. 両親学級への参加を促す。
2. パースプランの立案を勧める。
3. 産後ケアに関する情報提供を行う。
4. 妊婦健康診査への夫の同席を勧める。

111 Aさんは妊娠39週5日、男児を経膈分娩で出産した。産褥1日、体温37.1℃、脈拍85/分、血圧110/75 mmHgである。子宮底の位置は臍下1横指、中等量の血性悪露を認めるが、量は減少してきている。乳頭は乳管が左右共に2本開口しており、にじむ程度の乳汁分泌を認める。Aさんは「生理痛のような下腹部の痛みがありました、徐々に改善しています。お産のあとは尿意がなくて尿も出ている実感がなかったのですが、今は尿意があり排尿もしっかりあります」と話す。

Aさんに対するアセスメントで正しいのはどれか。

1. 異常な腹痛
2. 子宮の復古遅延
3. 乳汁の分泌不良
4. 一過性の排尿障害

次の文を読み 112～114 の問いに答えよ。

A さん(24 歳、初妊婦、事務職)は妊娠 8 週であり、両親と 3 人で暮らしている。パートナー(24 歳、大学院 2 年生)は就職が決まっており、A さんと結婚する予定である。

A さんは「特に朝の気持ち悪さがつらくて、あまり食べられません。ご飯が炊き上がるにおいだけで吐き気がします」と話す。妊娠経過は順調である。

112 A さんへの食事指導で適切なのはどれか。

1. 「食事は温めましょう」
2. 「空腹の状態にしましょう」
3. 「食べたいときに食べましょう」
4. 「赤ちゃんのために栄養を考えて食べましょう」

113 A さんは「妊娠することは考えていなかったのに、自分の体にどんなことが起こるのか想像もつきません」と話した。看護師は、次の妊婦健康診査までに生じやすい変化について説明することにした。

A さんに説明する内容で適切なのはどれか。

1. 便秘
2. 尿漏れ
3. 腰背部痛
4. 下肢のけいれん

114 Aさんの妊娠経過は順調で、妊娠38週3日に正常分娩で出産した。産褥経過と乳汁分泌は順調である。産褥4日の退院指導の際に「産後の性生活について教えてほしい」と話す。

Aさんへの説明で適切なのはどれか。

1. 「コンドームは不要です」
2. 「基礎体温を計測して避妊しましょう」
3. 「月経が再開しなければ妊娠しません」
4. 「産後1か月の健診までは性交渉は避けましょう」

次の文を読み 115～117 の問いに答えよ。

A さん(24 歳、女性)は両親と 3 人で暮らしている。会社員として働いているが、最近責任の大きな仕事が増えていた。仕事帰りにコンビニエンスストアでサンドイッチやおにぎりなどを買い込み、家族が寝た後に一気に食べるようになった。量が増えていき、食べた後に自ら嘔吐することを繰り返すようになった。過食嘔吐をやめられないことに悩み、クリニックを受診し、bulimia nervosa神経性過食症と診断された。

来院時の身体所見：身長 155 cm、体重 48 kg、体温 36.4℃、血圧 104/60 mmHg、
脈拍 66/分(不整)。

検査所見：赤血球 400 万/ μ L、Hb 12.5 g/dL、白血球 6,300/ μ L、Na 135 mEq/L、
K 2.7 mEq/L、Cl 98 mEq/L、AST 30 IU/L<U/L>、ALT 35 IU/L
<U/L>、 γ -GTP 29 IU/L<U/L>、血糖 92 mg/dL。

115 A さんの来院時の所見から考えられるのはどれか。

1. 貧血
2. 低血糖
3. 肝機能障害
4. 低カリウム血症

116 2 回目の外来受診日に、A さんから外来看護師に「過食がやめられません。私はどうすればいいのでしょうか」とbulimia nervosa神経性過食症との付き合い方について相談があった。

外来看護師の声かけとして適切なのはどれか。

1. 「毎食の食事は手作りしましょう」
2. 「過食したくなる時の状況を記録してみましょう」
3. 「家族の力は借りず自分の力で頑張ってください」
4. 「理想体重を維持できるよう毎日体重計に乗りましょう」

117 Aさんは受診時に母親と一緒に来院した。母親から「父親は、普段はAとあまり話すことはありませんが、過食を見つけると我慢が足りないからだ」とAを叱ります。私は食費が高くて困っています。どうしたらいいのでしょうか」と外来看護師に相談があった。

看護師が母親に行う支援として、適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 家族心理教育や家族会を紹介する。
2. 疾患による家計への影響は仕方がないと伝える。
3. 食行動の異常には厳しく接するように指導する。
4. Aさんの疾患や今後の見通しについて説明をする。
5. 家族が原因であるため、すぐ態度を改めるよう指導する。

次の文を読み 118～120 の問いに答えよ。

午前 9 時、震度 6 強の大地震が発生した。発災直後、A 病院では傷病者への対応として救急病棟に 8 床確保した。その応援のために各部署から看護師 3 名、医師 2 名、臨床工学技士 1 名、臨床検査技師 1 名、理学療法士 1 名が救急病棟に集まった。救急病棟のリーダー看護師は他部署から集まったスタッフとカンファレンスを行った。

118 リーダー看護師が指揮する内容で適切なのはどれか。

1. 理学療法士に傷病者の採血を依頼する。
2. 看護師に自己判断で輸液を実施するよう伝える。
3. 臨床工学技士に医療機器の動作確認を依頼する。
4. 傷病者本人が名前を名乗る行為は省くよう医療スタッフに伝える。

119 発災 1 時間後、町内の避難所に救護所が開設され、A 病院から応援の看護師が派遣された。救護所には簡易ベッド、処置台、医療資材、ホワイトボードが設置されている。数十分後には救護所に多数の傷病者が来ることを想定し準備を行った。

救護所の看護師が行う準備で優先されるのはどれか。

1. 医療資材の使用期限確認
2. 24 時間体制の看護師の確保
3. 医療処置前に契約する同意書の作成
4. 医療機関別の救急受け入れ先リストの確認
5. トリアージ別に傷病者が待機する区域の確保

120 発災2時間後、救護所に2名の傷病者が同時に到着した。

B氏(63歳、男性)：避難の途中に転倒し、右足首を負傷した。「自力で歩いてきた。痛みは我慢できる程度」と話す。

体温37.2℃、呼吸数12/分、脈拍82/分、血圧140/80 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)97%。右足首に内出血がある。発汗著明、頭痛はない。

C氏(36歳、男性)：避難の途中でつまずき、右側腹部をガードレールにぶつけた。「ここが少し痛むだけ」と右側腹部を押さえている。

体温37.4℃、呼吸数20/分、脈拍84/分、血圧110/74 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)96%、皮膚冷感なし、右側腹部に軽度の発赤があるが腫脹や外出血はない、腹壁緊張はない。

10分経過後、看護師は2名の観察を行った。

B氏：右足首の内出血と腫脹が軽度増大している。体温37.5℃。他のバイタルサインに変動はない。

C氏：「少しお腹が痛い 吐き気がする」と訴える。体温37.4℃、呼吸数24/分、脈拍98/分、血圧88/48 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)94%。腹壁緊張あり。

このときの看護師の対応で優先されるのはどれか。

1. B氏の水分補給
2. B氏の頸部の冷却
3. C氏の吐物処理の準備
4. C氏の静脈路確保の準備